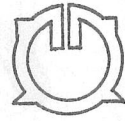


昭和 45 年 8 月 1 日

横芝町の人口と世帯

< 6 月 31 日 現在 >

人 口	12,357 人
男	5,892 人
女	6,465 人
世 帯 数	2,895 戸



広報

横芝

発行所

山武郡横芝町横芝636番地
 横芝町役場
 電話 04798-2-1111(代)
 郵便番号 289-17

中央公民館・庁舎増築

落成祝賀式挙行

長い間町民に一方ならぬ不大会議室において、庁舎増築お便とご迷惑をかけていましたよび中央公民館の落成式が、役場庁舎の増築工事もめでた町内外来賓及び一般招待者多く竣功しましたので、去る七数の出席のもとに盛大に挙行月十日、横芝町中央公民館大さされました。その席上、この



建設にご協力をいただいた多数の方々、町より感謝状が贈られました。

町長式辞

本日、横芝町の中共公民館並に、増築庁舎の落成式に際し、県官始め多数の来賓各位の御臨席を賜りましたことを光栄に存じます。

わが国経済の驚くべき成長と、文化のめざましい向上に伴って、国民の生活や意識の上にも大きな変革をもたらしつつあります。

これに即応する社会教育の重要性にかんがみ、その拠点としてここに、鉄筋コンクリート二階建三〇〇余坪の中央公民館を建設いたしました。

又、旧役場庁舎は、昭和三十三年に新築した鉄筋コンクリート二階建、二六〇坪で、当時は、デラックス庁舎としてわれわれもひそかに誇りとしていたのですが、めざましい国勢の伸展、ひいては町政の発展に伴って行政機構は複雑化し、事務は多様化して、いちじるしく狭あいを感じるに至りましたので増築した次第であります。新庁舎は、鉄骨造り二階建一八〇坪で、二階は、専用議場、議長室、議員控室、議会事務室に当て、議会の神聖を保ち、議員の活動、研修に便であることを、ねらいとして設計いたしました。階下は、事務室、町民相談室、控室等に当てました。

役場は、町の行政の府であると共に、町民へのサービスセンターでもあると考えておりますので、それに適合するよう設計したつもりでありま

す。又、そこに働く職員は、快適な気分です事務能率を向上することが肝要であると考え

て設計したつもりでありますこの両建物の建設に当っては、県当局を始め、関係機関の終始あたたかい御指導と御援助をいただきましたことは、誠に、感謝にたえないところで、町民と共に深く御礼申しあげます。又、町内にあつては、議会を始め、各種団体、一般町民各位の絶大な御協力をいただきました。特に本日、感謝状を贈呈いたしました各位には、或は貴重な土地を提供され、或は、浄財を寄附され、或は、物品を寄贈されるなど、全く挙町一体の態勢下に、本日の落成式を見るに至りましたことは、町政担当の責任者として感激の至りでありま

す。また、設計者、施工者各位が誠心誠意を以って、終始ご協力下さいましたことを、深く感謝いたします。以上のような趣旨、以上のような協力態勢の下に落成はいたしました。問題は今後の運用にかんがあると思っております。願はくば本日ご来臨の各位には、御懇篤なるご指導とご鞭撻を末永く賜りまして、わが横芝町発展のために、お力添えを下さいますよう、せつにお願ひ申し上げます。

- | | |
|--|-------------------------|
| 横芝町中央公民館建設事業に
対して、
次のような篤志家から寄附が
ありました。 | 横芝町中央公民館建設事業に
対して、 |
| 東洋コンチネンタルカーボン
有限会社 百万円 | 横芝町中央公民館建設事業に
対して、 |
| 横芝町婦人会 百万円 | 次のような篤志家から寄附が
ありました。 |
| 日本ゼニスパイプ株式会社 五十万円 | 株式会社丸屋殿 五十万円 |
| 株式会社石坂善新堂殿 三十万円 | 株式会社千葉銀行殿 二十万円 |
| 今関医院殿 二十万円 | 千葉蕪業株式会社殿 十万円 |
| 葛飾精鋼株式会社殿 十万円 | 横芝町上町押尾喜世治殿 六万四千元 |
| 横芝町上町押尾喜世治殿 六万四千元 | 横芝町鳥喰新田市原恒殿 五万七千元 |
| 現物による寄附 | 花田一男殿 |
| 塑像 | 横芝町商工会殿 |
| 金屏風 | 鋼業サッシ株式
会社殿 |
| 時計 | |

議長あいさつ

本日ここに、中央公民館、芝町も、町村合併より、は並に役場庁舎の落成式を挙行するに当り、来賓各位多数のご臨席を仰ぎ、町議会を代表し、ご挨拶を申し述べ、お喜びとさせていただきますが、横



庁舎増築部全景

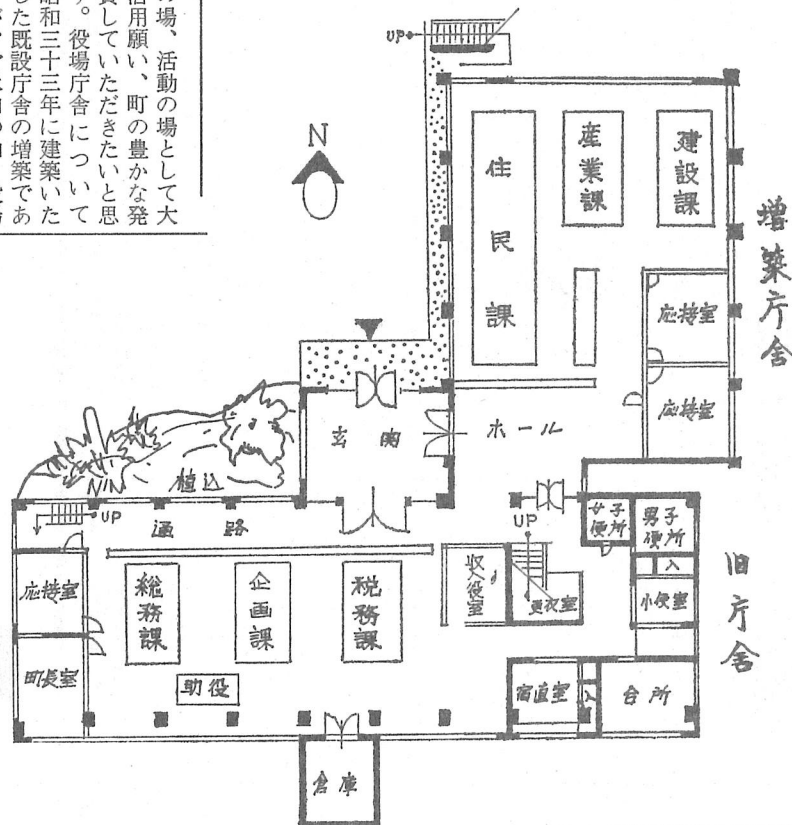
えないところであります。このような時期に、立派な公民館や庁舎が建設されましたことは、誠に意義深く、全く時宜を得たものでありまして、落成式を迎えるにあたり、完成に至るまでの関係各位のご尽力に対し、改めて、深甚なる敬意を表するものであります。近年わが国における、政治、経済、文化、社会の全面にわたる著しい変化は、まことに目覚ましいものがございます。こうした画期的な社会変動に即応する社会教育の必需性は、今更申し述べるまでもございません。この社会教育活動の拠点としての、公民館建設の意見は、数年前より町議会におきましても論ぜられていたところであります。が、さし迫った問題や財源の都合で今日まで見送られてまいりました。幸い、関係機関、あるいは町内の有志の方々のあたたかいご援助とご協力により、ここに長年の希望が実現いたしました。今後は、婦人会、青年団は言うに及ばず、町民共通の

交通指導員

選任される

横芝町交通指導員に、屋形南の浅野清氏が七月一日付けて町交通安全対策協議会長から委嘱されました。これは、町指導員が一名欠員となっていたものを補うため行なわれたものです。

役場庁舎増築部全景



学習の場、活動の場として大いに活用願ひ、町の豊かな発展に資していただきたいと思ひます。役場庁舎については、昭和三十三年に建築いたしました既設庁舎の増築であります。が、ご承知の如く役場は、町民各位の福祉を招来する行政の窓口であります。この建設が、明日の横芝町を築く礎となり、住民の福祉向上に大きな力となることを信じてやみません。新たな庁舎に於て、執務される職員には、公務員としての自覚を深め、事務能力の向上をはかり、住民の期待にそむかぬよう、心せられんことを念願いたします。また、金町民の政治への熱意の結晶として、待望久し

かった議場が、椎名町長の配慮により誕生しましたことは、我々議会人として感激に耐えないところであります。と同時に、今後の責任の重大さを一層痛感致すものであります。これを機会に我々は、住民の代表者としての自覚を一層深め切磋琢磨し、地方自治の発展と町民の福祉増進に全智全能を傾け、職責を全うする覚悟であります。終りに、本日の式典にあたり、御多端の折にもかかわらず、来賓の方々多数ご臨席をいただき、盛大に式典を開くことができましたことを、厚く御礼申し上げます。当横芝町のため、今後とも一層のご指導ご支援を賜わらんことをお願い致しまして、ご挨拶にかえさせていただきます。

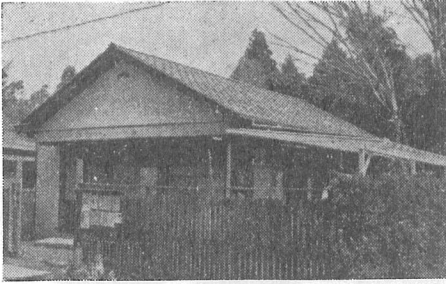
十年一昔 (その七)

大総駐在所界隈

両総用水第二揚水機場を迂回して、振子坂の急坂を上ります。と正面に集落が開けて来ます。本紙で昨年の五月に「ふるりの散歩路」として紹介した旧大総村役場の所在地です。町村合併の頃を知っている人々は「随分変わったものだ」と、きっと驚かれることと思います。まず、右手に見える近代的な建物は大総郵便局です。小学校の向側に在ったのを、つい先年此処に移したのです。小学校といえは、此の庭には神社等でも余り見かけない様な楠の大木が、夏は格好の日陰になりますが冬は陽当りを妨げる、というので「いっそ切倒しては」という話もあったのですが、

日露戦争の記念樹である、というのと、或年桜の枝の太いのを切り落したのを見かけた当時の町長さんから「大事な庭木を切ることは、まことにけしからん」と校長先生が大目玉を頂戴したこと等からそのままになっていたということですが、いま見ますと、大分程裁よく枝が払われともすがすがしい風情になっています。

小学校の前を通り過ぎますと郵便局や学校と同じ並びに成東警察署大総巡査駐在所の真新しい建物があります。この駐在所も、元は、筋向いの左側に建てたもので、生垣を廻らし、年に一度位はコーラタールを塗装して



サビ止めをしていたトタン屋根、樺の大樹が周囲で天を掃うようにそそり立ち、秋も深まってくると、隣接する神社の境内にある銀杏と共に枯葉が散り注ぎ、黒い管の駐在所の屋根は何時しか黄一色に覆われ、時には屋根や庭先に銀

選管委員長に

早川 恂 氏

江嶋勇治氏が逝去されたことにより、欠員となった委員の補充として嘉瀬源貞氏が、六月十八日付をもって選任されました。選挙管理委員会の陣容は次のとおりです。

委員長 早川 恂 東 町

へうそぢや

ないってば

本当だえ

横芝町小唄が誕生

大橋(早川)恂先生により新らしく横芝小唄が誕生しました。去る七月十日の庁舎落成記念の日に、同式場でキングレコードの専属歌手により披露されました。

杏の実が奇妙な香りをただよわせて落ちていた——こんな情景に想出を持つ往時の人々は、今は私有の住宅となつていますが、場所も形も殆んど変っていない旧駐在所の前を通る時、きっと一度はふり返って見るでしょう。町村

委員長職務代理者

伊藤壮男 北清水
実川正男 寺 方
嘉瀬源貞 鳥喰新田

合併後、元役場庁舎は公民館大総分館として花を咲かせることになりました。交通教室、交通安全指導と公民館活動にも、是非積極的なスケジュールを組んで、地域住民を交通禍から護るよう、と要望切なるものがある折柄、その中軸となつて指導を担当してもらわなければならぬ警察官の拠所が、南面の明るい姿に変わったことは、此処十年の大きな進歩として採上げてよいと思つています。(写真上は現在、下は約十年前の大総巡査駐在所)

横芝小唄

キングレコード専属

作詩 大 橋
作曲 細 川
振付 西 崎
若 一 恂

- 一、誰にナ 誰に見せよと 栗山川は
そっと口紅うす化粧
桜吹雪の花かげに、く
可愛いあの子の 片えくぼ
嘘じゃないってば 本当だえ
- 二、梅はナ 梅はつぶらに 早苗は伸びて
隣町から 嫁がくる
親子揃うて 山鳩は、く
ホッと見下す 坂田池
嘘じゃないってば 本当だえ
- 三、古川ナ 古川こがれて 両国までも
螢追い、く 宵あかり
来いと云うのに また逃げて、く
スイとすすきで 手が切れた
嘘じゃないってば 本当だえ
- 四、貴方ナ 貴方遠山 私は三島
誓う中台何時までも
雁野鳥喰 夕暮れて、く
十と三夜の 月を待つ
嘘じゃないってば 本当だえ
- 五、俺らはナ 俺らは九十九里 屋形に生れ
千鳥啼く、く 砂浜に、く
男度胸の 片しぶき
明日も晴れかよ 夕あかね
嘘じゃないってば 本当だえ
- 六、お出ナ おいで横芝 黄金の町え
心安らか 暮しよさ
朝は朝かぜ 夜は夜露、く
笑顔明るい 町づくり
嘘じゃないってば 本当だえ



自衛官募集

自衛隊では、陸海空自衛官を募集しています。十八才以上二十五才までの日本人男子なら誰でも応募でき、希望する月に入隊できます。詳しいことは役場企画課へご相談下さい。

税金よ何処へ行く

◇このように還元される◇
 国や地方公共団体は、道路や住宅を造ったり、学校を建てたり、生活に困っている人のめんどうをみたり、いろいろな仕事をしています。このような仕事に使われるお金は大部分が、私たちの納めた税金でまかなわれています。昭和四十五年度の国の一般会計予算は、約七兆九千四九七億円ですが、このうちの約九割が税金で、国民一人あたりの国税の負担額は、約七万円とになります。そこで、私たちが国に納めている税金は、どのように使われているか、そのあらましを三回にわけて説明します。

一、社会保障の充実のため
 私たちは、思いがけず病に罹ると、生活が困ります。医療保険や年金保険は、私たちに必要な経費は、すべて

保険料でまかなわれていて、国のお金がかかり使われているのです。たとえば、昭和四十五年度の国民総医療費は、およそ二兆五千億円に達する見込みですが、その約四分の一は国のお金でまかなわれる予定です。つまり私たちが病気で入院した場合、その医療費の四分の一は、私たちの税金でまかなわれることになり、生活に困り、最低限度の生活さえできなくなったときは、生活保護制度によって保護の手がさしつけられることになっていきます。このような保護を受けている世帯は約六十六万世帯、人数にして約四百四十万人にのぼっています。このほか、老人や身体障害者などに

対しては、老人ホームや国立コローニを造るなどの施策が行なわれています。このような社会保障の充実のために、一般会計からは予算のうち十四、三パーセントにあたる一兆千四百億円のお金が使われています。

土地改良功労者に

鈴木 寛氏

土地改良功労者として去る五月二十八日、全国土地改良事業団体連合会から横芝町谷の鈴木寛氏が表彰を受けられました。氏は高谷川沿岸の圃場の区画整理事業に尽力され、米ある表彰を受けられたものです。

土地提供者に

感謝状贈られる

「町の発展は道路から」と云う方針で、町では道路行政に多額の公費をつぎこんでいます。道路を舗装する場合、現在の交通事情からある程度道幅を拡げることがあります。土地の取得が大変難かしい現状です。このような事情の中で、今回完了した栗山北部地区町道の改良及び舗装工

- 事のために、多数の方々から土地の寄附がありました。町では、この奇篤なご行為に対し、この度、町長から次の方々に感謝状が贈られました。
- 加瀬 芳雄 殿
- 齊藤宇兵衛 殿
- 岡田 雅美 殿
- 勝保 豊 殿
- 飯島 正二 殿
- 若梅 光儀 殿
- 若梅 喜作 殿
- 寺本茂一郎 殿
- 中田 太市 殿
- 福島 秀夫 殿

横芝俳壇

七月例会作品抄

土屋 栗水
 艶にして大陸の香や夾竹桃
 泳ぎかなし雀民の子は銭を追
 梅雨晴れる乱れて匂うガーデンヤ
 長雨に堅きつぼみや夾竹桃
 あわび持つ海女が小舟に泳ぎ寄る

石川 奇水
 夾竹桃土に平たい犬の顔
 夾竹桃の落花支えし芝生かな
 古内 青人
 倒れ伏す麦萌え出する地の吐息
 きようちくとう児の腫に溢れ来る涙
 川島 啓明
 夾竹桃赤いリボンの猫現わる
 病室に夾竹桃の花あれば
 藤代 ゆう
 競泳やしぶきにかえず子の声

田島 千代
 黒潮にいどむ若人砂の文字
 サルピヤのむかえる岬海女の町
 高埜 孝子
 初茗荷やく味に添えて冷奴
 踊る手はまぢまぢなるや初浴衣
 渡辺きよ子
 梅雨晴れる乱れて匂うガーデンヤ
 長雨に堅きつぼみや夾竹桃
 齊藤得志郎
 梅雨晴れる乱れて匂うガーデンヤ
 砂浜に泳がぬ水着の花さかす夕月に泳ぐ影なし九十九里
 斉藤 幸子
 ゆり動くレースに透ける夾竹桃
 月見草咲く浜にきて泳ぎけり

建設のあゆみ

7月~8月

完成した事業

- ① 中台排水工事 128m
- ② 横中校庭舗装 222m
- ③ 上町一鳥喰線(補修工事) 175m
- ④ 道路舗装工事
 - 上町一長倉線 200m
 - 牛熊入口線 395m
 - 中台一芝山線 630m
 - 東通学路 259m
 - 東一三軒家線 304m
 - 西一中里線 285m
 - 坂田一於幾線 620m
 - 臨海道路 230m

8月着工予定及び工事中の事業

- ① 横小フェンス取付工事 130m
- ② 長倉暗渠伏替工事 12m
- ③ 役場敷地舗装工事 2,300㎡
- ④ 道路舗装工事
 - 松尾一蓮沼線 420m
 - 長倉一遠山線 1,700m
 - 木戸台青年館通り 710m
 - 取立一長倉線 403m
 - 東町区内 140m